

# 新たな感染症とともに



## 今、何が大切なのか・・・

6月29日(火)第2回新型コロナウイルス対策検討会議を開きました。

会議では、学校(園)におけるコロナ禍の1年を振り返るとともに、最近の感染症状況や熱中症対策とマスクの問題、子どもへのワクチン接種、学校給食の現状等を話題に挙げ、今、何が大切なのかを確認しました。

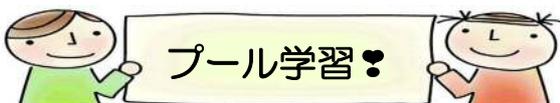
## 子どもたちの日常を取り戻そう



新型コロナウイルス対策検討会議では、これまで、「子どもたちの笑顔が見られる楽しい給食」を勧めてきました。学校保健課の調査によると、今はまだ前を向き、会話をせずに給食を食べている学校がほとんどですが、校内放送でクイズや音楽、動画を流して楽しめるよう工夫している学校が増えてきています。児童・生徒に人気の歌謡曲や動画を配信しているという学校もありました。また、人数を制限してランチルーム会食を再開したり、誕生日給食を再開したりという学校もあります。



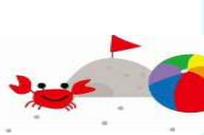
一部の小規模小学校では、机の配置を前向きから円の形にして、子ども同士が互いの顔を見ながら給食を食べています^^



昨年度実施できなかったプール学習。今年は、市内全部の小学校で実施されています。学校のホームページを見ると、2年ぶりのプール学習に、子どもたちの笑顔がはじけていますね。各学校では、可能な範囲で更衣室を分散させたり、更衣を短時間で済ませたりするなどの対策、指導を行っています。



海や川、湖などでの  
事故に気を付けましょう



警察庁の発表によると、令和元年度の自宅外における中学生以下の子どもの水の事故は、118人(190人)でした。うち30名死亡、50名負傷となっています。昨年は、海水浴場が閉鎖されていたため、川での事故が多くみられました。水のあるところで遊ぶ際は、ライフジャケット着用や浮き具持参を忘れないようにしましょう。また、複数の人と一緒に遊ぶようにしてください。

# 体育の時間、運動時は、マスクをはずしましょう

その理由は、熱中症が生命にかかわる病気だからです。学校の管理下における熱中症による死亡事故のほとんどが体育の時間に起こっています。

図 2-1-3 学校の管理下の熱中症死亡事故 学校・活動別 (H2~H24)

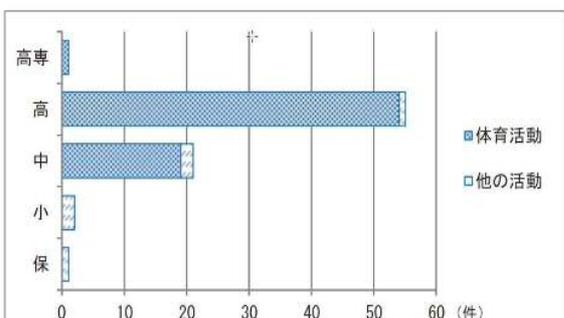
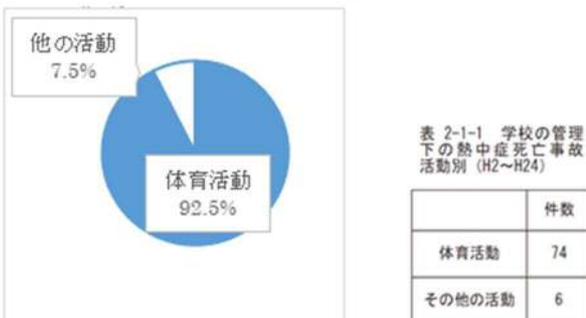


図 2-1-4 学校の管理下の熱中症死亡事故 活動別 (H2~H24)



【参考】独立行政法人日本スポーツ振興センター「体育活動における熱中症予防」調査研究報告



## ★世界の学校★ ～オランダ～



人口 1700 万人のオランダでは、500 万人がワクチンの 2 回接種を済ませ、400 万人が 1 回接種を済ませています。6 月 26 日からは、様々な制限が解除され、学校での感染症対策が緩和されています。校内では、基本的にマスクは必要ありません。教師同士は互いの距離を 1.5m 取らなくてはいけないものの、生徒と教師の距離を保つ必要はありません。設置可能な場合は一方通行の歩行ルートを設置しています。昼休みに家に戻らず、学校に滞在してもよいこととなりました。また、修学旅行・キャンプ・演劇鑑賞などの学校行事が再開しています。体調不良の症状がある場合は、自宅待機、濃厚接触者となった場合は、自宅でリモート授業を受けるそうです。UNICEF の 2020 年レポートにおいて、「子どもの幸福度ランキング」でオランダは世界第一位です。以前より、コロナ対応におけるオランダの国家としての姿勢に注目していましたが、さすがだなと思います。

### < 1 年間の対策を振り返って >

本検討会議では 1 年以上にわたって子どもたちの健康を考え、学校生活のあり方を議論してきました。その結果として、全国の年代別 PCR 陽性率と比較評価をしましたが、富山市の小中学生における感染率は高くなっていません。引き続き、日常を取り戻す取り組みを進めていきます。ご理解、ご協力のほど、どうぞ宜しくお願い致します。



※これまでに発行したリーフレットは、市学校保健課、各学校(園)のHPで見ることができます。リーフレットの内容については、必要に応じて改定することもあります。  
【事務局】富山市教育委員会 学校保健課(TEL 443-2136)